

野菜の需給・価格動向レポート(平成29年10月3日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

※レポートの読み方については、注意書きを参照してください

種類	8月の価格情報		9月の価格情報			10月の価格情報	9月中旬の関東及び近畿ブロックの入荷量()内は、本年と過去3カ年平均値との比率	主産地	生育及び価格の10月中旬までの見通し	「図の見方」 平均価格 見通しの価格水準 現時点の価格水準
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格				
葉菜類	キャベツ	74.19	88 (119%)	74.19	82 (111%)	95 (128%)	74.19	・12.685t (104%)	群馬(60), 茨城(13)	群馬産は、好天により、生育は順調で、大玉比率も高いことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。茨城産は、本格出荷は10月中旬頃と見込まれるが、生育は順調なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 群馬産及び茨城産の出荷は平年並みと見込まれることから、市場では不足感もなく、現在平均並みの価格は、引き続き平均並みで推移する見込み。
		88.91	93 (105%)	88.91	88 (99%)	98 (110%)	88.91	・4.755t (103%)	群馬(55), 長野(21)	
	たまねぎ	93.34	74 (79%)	93.34	71 (76%)	69 (74%)	93.34	・6.941t (97%)	北海道(95)	北海道産は、収穫作業は順調で、北見等の台風の被害も軽微なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 北海道産の出荷は引き続き平年並みと見込まれるが、7月から続く安値基調により、現在平均を下回っている価格は、引き続き平均を下回って推移する見込み。
		93.34	74 (79%)	93.34	72 (77%)	69 (74%)	93.34	・3.029t (106%)	北海道(87), 兵庫(12)	
	ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)	287.00	323 (113%)	287.00	294 (103%)	294 (102%)	136.25	・2.419t (104%)	青森(24), 秋田(18), 北海道(17)	青森産は、台風の影響は軽微で、生育は概ね順調なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。秋田産は、台風の影響もなく、生育は概ね順調ではあるが、稲刈りとの農作業が重なり、収穫作業の遅れが見込まれることから、現在平年並みの出荷は、今後は平年より少なめの出荷の見込み。北海道産は、一部産地で台風の被害がでており、品質への影響が懸念されるものの、影響は軽微なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 秋田産の出荷が少なめと見込まれるものの、青森産及び北海道産の出荷が平年並みと見込まれ、10月から平均価格の水準が下降することから、現在平均並みの価格は、平均を上回って推移する見込み。
		487.13	433 (89%)	487.13	476 (98%)	491 (101%)	467.01	・214t (117%)	香川(18), 徳島(18), 高知(12), 奈良(12), 三重(12), 大阪(9)	
	はくさい	81.96	104 (127%)	81.96	107 (130%)	110 (134%)	81.96 56.81	・5.894t (99%)	長野(70), 茨城(15)	長野産は、高冷産地では9月の曇天の影響で生育が緩慢になっているものの、南佐久等の二毛作産地では、生育は概ね順調なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 長野産の出荷は平年並みと見込まれるものの、後続産地の関東産が前進気味の出荷となっていることや、9月下旬の気温高による需要減となっていることから、現在平均並みの価格は、今後は平均を下回って推移する見込み。
		88.72	105 (118%)	88.72	107 (120%)	111 (125%)	88.72 69.44	・3.605t (106%)	長野(95)	
	ほうれんそう	583.95	733 (126%)	583.95	829 (142%)	639 (109%)	385.11	・611t (128%)	群馬(33), 茨城(22), 栃木(16)	群馬産及び茨城産は、生育及び品質は概ね良好で、10月中旬頃の出荷ピークに向け、引き続き平年並みの出荷の見込み。栃木産は、8月までの天候不順による生育不良から一部ほ場で細株がみられるものの、生育は概ね順調なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 群馬産、茨城産及び栃木産の出荷が平年並みと見込まれ、中旬からは秋冬作産地の市場への入荷増の見込みもあることから、現在平均並みの価格は、10月から平均価格の水準が下降することから、平均並みで推移する見込み。
		670.86	757 (113%)	670.86	821 (122%)	778 (116%)	461.74	・234t (103%)	岐阜(66), 北海道(10)	
レタス (結球)	158.27	145 (92%)	158.27	176 (111%)	142 (90%)	158.27	・5.628t (115%)	茨城(60), 長野(26)	茨城産は、8月の曇天雨で黄変などがみられたほ場があったものの、9月の好天により生育も順調なことから、現在平年並みの出荷は、今後の天候次第ではあるが、やや多めの見込み。長野産は、夜温の低下により生育が緩慢になっているものの、病害等も特になく、生育は概ね順調なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 長野産の出荷は平年並みと見込まれるものの、茨城産はやや多めと見込まれることから、現在平均を下回っている価格は、引き続き平均を下回って推移する見込み。	
	152.57	155 (102%)	152.57	189 (124%)	146 (96%)	152.57	・1.897t (130%)	茨城(32), 長野(26), 兵庫(23), 長崎(12)		
果菜類	きゅうり	221.22	340 (154%)	221.22	339 (153%)	265 (120%)	289.03	・5.238t (123%)	埼玉(29), 群馬(26), 福島(11), 茨城(11)	埼玉産は、天候に恵まれ、品質も良好なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。群馬産は、8月の天候不順による生育遅れがあったものの、現在の好天により生育は回復していることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。福島産は、8月の長雨、日照不足により出荷がずれ込み、現在は多めの出荷となっているものの、一時的であることから、今後は平年並みの出荷の見込み。 埼玉産、群馬産及び福島産が平年並みと見込まれるが、10月から平均価格の水準が上昇することから、現在平均並みの価格は、平均を下回って推移する見込み。
		232.80	341 (146%)	232.80	338 (145%)	287 (123%)	298.96	・1.410t (116%)	群馬(21), 北海道(17), 宮崎(17), 大阪(11), 福島(11)	
	トマト (大玉)	252.46	351 (139%)	252.46	459 (182%)	381 (151%)	347.41	・5.459t (117%)	千葉(16), 福島(15), 熊本(11), 茨城(11), 青森(10)	千葉産は、抑制作が順調な出荷となっていることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。福島産は、病害虫等も見られず、概ね順調な生育となっていることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。熊本産は、7月までの前進出荷や9月に入ってから天候不順により小玉傾向となっていることから、引き続き平年より少なめの見込み。 千葉産及び福島産の出荷が平年並み、熊本産の出荷は平年より少なめと見込まれることに加え、現在の価格を維持するも、10月から平均価格の水準が上昇することから、現在平均を上回っている価格は、平均並みで推移する見込み。
		298.46	355 (119%)	298.46	460 (154%)	432 (145%)	371.67	・2.036t (117%)	岐阜(23), 熊本(22), 北海道(19), 岡山(11)	
	なす	230.51	291 (126%)	230.51	345 (150%)	359 (156%)	301.00	・2.504t (117%)	高知(31), 栃木(21), 群馬(19)	高知産は、台風の影響等で出荷量が減少しているものの、一時的であることから、今後は平年並みの出荷に回復する見込み。栃木産は、台風の影響により、スレ果など品質に影響が出ているものの、影響は軽微であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。群馬産は、天候に恵まれ、生育は概ね順調なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 高知産の出荷は平年並みに回復し、栃木産及び群馬産の出荷も平年並みと見込まれることに加え、市場では高値疲れ感があり、現在の価格を維持するも、10月から平均価格の水準が上昇することから、現在平均並みの価格は、平均を下回って推移する見込み。
		232.81	257 (110%)	232.81	297 (128%)	300 (129%)	263.21	・822t (100%)	高知(25), 山梨(18), 熊本(14), 徳島(9)	
ピーマン	263.58	374 (142%)	263.58	353 (134%)	353 (134%)	263.58	・1.309t (110%)	茨城(54), 岩手(24)	茨城産は、台風被害もなく、生育及び品質は良好なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。岩手産は、8月までの天候不順により草勢が弱くなる等、出荷減となっていたものの、現在は好天により生育は回復していることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 茨城産及び岩手産が平年並みと見込まれ、東北産が引き続き出荷残があることから、現在平均を上回っている価格は、平均に近づくものの、引き続き平均を上回って推移する見込み。	
	296.27	369 (125%)	296.27	358 (121%)	364 (123%)	296.27	・500t (121%)	青森(25), 茨城(16), 兵庫(9), 高知(8), 大分(8)		
根菜類	だいこん	94.60	83 (88%)	94.60	92 (97%)	103 (109%)	67.55	・4.654t (89%)	北海道(37), 青森(34)	北海道産は、一部産地で7月の天候不順の影響で播種が遅れた地域があるものの、生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。青森産は、8月の曇天雨による生育の遅れから、引き続き平年より少なめの見込み。 北海道産の出荷が引き続き平年並み、青森産の出荷が少なめと見込まれるが、後続産地の関東産の生育が順調なことに加え、現在の価格を維持するも、10月から平均価格の水準が下降することから、現在平均を下回っている価格は、今後は平均を上回って推移する見込み。
		95.37	74 (78%)	95.37	87 (92%)	103 (108%)	76.48	・1.870t (87%)	北海道(36), 石川(32), 岩手(10), 青森(10), 新潟(8)	
	にんじん	123.08	71 (58%)	123.08	73 (59%)	74 (60%)	123.08	・4.679t (109%)	北海道(87)	北海道産は、台風の影響も見られず、生育も順調であることから、引き続き多めの出荷の見込み。 北海道産の出荷は多めと見込まれることから、現在平均を下回っている価格は、引き続き平均を下回って推移する見込み。
123.11		70 (57%)	123.11	66 (53%)	69 (56%)	123.11	・1.796t (110%)	北海道(96)		

注：1 平均価格は、過去6カ年(平成20～25年)の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格。
2 旬別平均販売価格の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
3 単位は円/kg。上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで平成28年実績である。
5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの働き取りをもとに機構が作成したもの。
6 はくさいの平均価格は、上段が8月11日～10月15日(夏はくさい)まで、下段は10月01日～10月31日(秋冬はくさい)までの価格である。

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	8月の価格情報		9月の価格情報			10月の価格情報	9月中旬の関東及び近畿ブロックの入荷量()内は、本年と過去3カ年平均値との比率	主産地	生育及び価格の10月中旬までの見通し	
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	中旬	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格				
いも類	さといも	254.79	377 (148%)	254.79	313 (123%)	293 (115%)	220.97	・457t (110%)	埼玉(51), 千葉(27)	生育及び価格の10月中旬までの見通し
		220.11	270 (123%)	220.11	359 (163%)	289 (131%)	217.56	・91t (122%)		
	ばれいしょ	111.77	121 (108%)	111.77	114 (102%)	103 (92%)	96.99	・4,200t (108%)	北海道(99)	生育及び価格の10月中旬までの見通し
		111.77	110 (98%)	111.77	94 (84%)	90 (81%)	96.99	・1,608t (85%)	北海道(100)	

注: 1 平均価格は、過去6カ年(平成20~25年)の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格。
 2 旬別平均販売価格の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
 3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
 4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで平成28年実績である。
 5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成したものである。

1 主要野菜の生産出荷状況(特定野菜)

種類	8月の価格情報		9月の価格情報			10月の価格情報	9月上旬の東京都及び大阪市場の入荷量()内は、本年と過去3カ年平均値との比率	主産地	生育及び価格の10月中旬までの見通し	
	(参考)過去5カ年平均価格	東京都・大阪市場の旬別価格	(参考)過去5カ年平均価格	東京都・大阪市場の旬別価格	中旬	(参考)過去5カ年平均価格				
洋菜類	ブロッコリー	386.86	513 (133%)	485.78	527 (108%)	476 (98%)	408.61	・507t (139%)	北海道(23), 埼玉(20), 米国(12), 長野(11)	生育及び価格の10月中旬までの見通し
		404.47	512 (127%)	453.84	532 (117%)	512 (113%)	424.92	・175t (170%)		
根菜類	ごぼう	295.61	379 (128%)	268.33	338 (126%)	311 (116%)	252.90	・298t (97%)	青森(65), 茨城(12)	生育及び価格の10月中旬までの見通し
		173.09	213 (123%)	175.79	218 (124%)	207 (118%)	173.20	・195t (102%)	青森(35), 茨城(27), 北海道(21)	
果菜類	かぼちゃ	175.73	234 (133%)	151.49	178 (117%)	150 (99%)	135.51	・1,371t (102%)	北海道(98)	生育及び価格の10月中旬までの見通し
		157.90	165 (104%)	129.22	132 (102%)	128 (99%)	125.57	・479t (78%)	北海道(82)	

注: 1 平均価格は、過去5カ年(平成24~28年)の東京都及び大阪市中央卸売市場の価格。
 2 旬別価格は、上段は東京都中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場であり、単位は円/kgである。
 3 旬別価格の赤字及び青の背景は、平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は平均価格を80%を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
 4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで平成28年実績である。

2 野菜の輸入動向 - 野菜の輸出入数量と主な生鮮野菜の輸出入について -

○輸入について

貿易統計によると、平成29年8月の生鮮野菜の輸入量は、5万7千トン(前年同月比97%)であった。また、輸入量の多い加工野菜は、1万5千8トン(同100%)であり、野菜全体では、2万1千5千トン(同99%)とわずかに減少した。

このうち、中国産の輸入数量は合計で1万6千トン(同102%)と、輸入量の54%を占めた。

なお、主な生鮮野菜のうち、特にばれいしょの輸入量が大幅に増加しているのは、例年、加工業務用の輸入は2月から6月に行われるものの、昨年の天候不順の影響による国産原料の不足感から、後ろ倒しでの輸入になったものである。

○輸出について

8月の輸出量は、野菜全体では2332トンと、前年同月を大幅に上回った(前年同月比124%)。生鮮野菜が1233トン(同124%)、加工野菜が1100トン(同123%)と、どちらも前年同月をかなり大幅に上回った。

輸出量が前年を大幅に上回ったキャベツ等(ブロッコリー、はくさいを含む)については、台湾へのはくさいの主たる輸出国の天候不順により、国産の引合いが高まり、増加したとみられる。

○輸出について

8月の輸出量は、野菜全体では2332トンと、前年同月を大幅に上回った(前年同月比124%)。生鮮野菜が1233トン(同124%)、加工野菜が1100トン(同123%)と、どちらも前年同月をかなり大幅に上回った。

輸出量が前年を大幅に上回ったキャベツ等(ブロッコリー、はくさいを含む)については、台湾へのはくさいの主たる輸出国の天候不順により、国産の引合いが高まり、増加したとみられる。

野菜の輸入数量

野菜全体の輸入量(平成29年8月)

区分	平成27年		平成28年		平成29年8月		平成29年1~8月	
	前年比	数量	前年比	数量	前年同月比	前年同期比	前年同期比	
生鮮野菜	826,845	93	862,416	104	56,856	97	610,120	110
加工野菜	1,752,337	98	1,768,892	101	157,852	100	1,265,552	108
野菜合計	2,579,182	97	2,631,308	102	214,708	99	1,875,672	109
うち中国産野菜合計	1,355,491	96	1,365,785	101	115,842	102	935,394	110
中国産シェア	53		52		54		50	

主な生鮮野菜の輸入先(平成29年8月)

区分	輸入合計		1位		2位		3位	
	前年比	数量	国名	数量	国名	数量	国名	数量
たまねぎ	23,473	93	中国	23,190	豪州	170	ニュージーランド	77
にんじん	6,187	84	中国	6,024	豪州	152	米国	8
ねぎ	4,975	118	中国	4,975				
ごぼう	3,918	100	中国	3,860	台湾	58		
ジャンボピーマン	3,001	95	オランダ	1,679	韓国	1,306	カナダ	16
にんにく	2,568	118	中国	2,426	スペイン	119	米国	19
メロン	1,768	94	米国	1,709	韓国	55	豪州	4
ばれいしょ	1,732	57,733	米国	1,715	中国	17		

同(平成28年8月)

区分	輸入合計		1位		2位		3位	
	前年比	数量	国名	数量	国名	数量	国名	数量
たまねぎ	25,148		中国	22,860	米国	1,246	豪州	456
にんじん及びかぶ	7,342		中国	7,152	豪州	186	米国	4
ねぎ	4,212		中国	4,212				
ごぼう	3,915		中国	3,894	台湾	21		
ジャンボピーマン	3,149		韓国	1,675	オランダ	1,470	ニュージーランド	4
にんにく	2,169		中国	2,027	スペイン	91	米国	50
メロン	1,884		米国	1,873	韓国	11		
ばれいしょ	3		中国	3				

野菜の輸出数量

野菜全体の輸出量(平成29年8月)

区分	平成27年		平成28年		平成29年8月		平成29年1~8月	
	前年比	数量	前年比	数量	前年同月比	前年同期比	前年同期比	
生鮮野菜	22,992	240	31,867	139	1,233	124	7,322	36
加工野菜	9,510	121	11,101	117	1,100	123	6,816	104
野菜合計	32,502	186	42,968	132	2,332	124	14,138	52

主な生鮮野菜の輸出先(平成29年8月)

区分	輸出合計		1位		2位		3位	
	前年比	数量	国名	数量	国名	数量	国名	数量
キャベツ等	646	552	台湾	589	香港	37	シンガポール	18
ながいも	260	50	台湾	118	米国	98	シンガポール	41
きのこ(その他、ほらたけ属以外)	100	72	台湾	61	香港	24	タイ	8

同(平成28年8月)

区分	輸出合計		1位		2位		3位	
	前年比	数量	国名	数量	国名	数量	国名	数量
キャベツ等	117		台湾	61	香港	39	シンガポール	17
ながいも	525		台湾	244	米国	232	シンガポール	48
きのこ(その他、ほらたけ属以外)	139		台湾	98	香港	21	タイ	15

同(平成27年8月)

区分	輸出合計		1位		2位		3位	
	前年比	数量	国名	数量	国名	数量	国名	数量
キャベツ等	46		香港	37	シンガポール	9		
ながいも	541		台湾	279	米国	228	シンガポール	34
きのこ(その他、ほらたけ属以外)	117		台湾	76	香港	25	タイ	14

資料: 農畜産業振興機構「ベジ探」(原資料: 財務省「貿易統計」)
 ※四捨五入の関係上、合計と各計の数字は一致しないことがあります。
 ※平成29年1月以降、関税法の統計品目番号の変更により、「にんじん及びかぶ」が「にんじん」と「かぶ」に分離・集計されています。

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 安藤、松岡、植村 TEL03-3583-9448、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。
 ◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方は当機構のホームページのトップ画面、メールマガジンから登録してください。
 ★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載されています。
 ※無断転載禁止 ・ レポートに記載された情報をご利用になったことにより生じたいかなる損害に関しても、当機構は一切の責任を負いません。